

部 会 名	令和7年度秋田県仙北地域保健医療福祉協議会救急・災害医療検討部会
日時・場所等	令和8年2月27日(金)・仙北地域振興局福祉環境部2階会議室
出席委員	16名中 12名出席
議 事 等	<p>(議事1) 令和7年8月仙北市大雨災害における保健活動報告 説明者：仙北市市民福祉部保健課 統括保健師 竹内 由美子</p> <p>【災害の概要】昨年8月19日から21日にかけて、桧木内・上桧木内地区で200mmを超える大雨による水害が発生。幸いにも人的被害はなかった。</p> <p>【保健活動の状況】避難所の開設に伴い、保健師がいち早く避難所（桧木内小学校、山鳩館等）へ向かい、健康観察を実施。しかし、昼間は家屋の片付け等で避難所に滞在する住民が少なかったため、被災状況の把握のために在宅被災者の個別訪問も実施した。</p> <p>【情報共有】庁内でのリアルタイムな情報共有にはLINEが非常に有効であった。</p> <p>【課題】昼間に避難者がおらずニーズ把握が難しかった点や、雨が降ると眠れないといったメンタル不調の訴え、民間ボランティアによる食事提供状況の把握などに課題があった。</p> <p>【関係機関との連携】保健所から家屋消毒等の啓発資材がプッシュ型で提供されたことや、社会福祉協議会のローリング訪問との連携が非常に心強かった。</p> <p>(議事2) 令和7年度秋田県冬期保健医療福祉調整本部訓練について 説明者：大仙保健所 事務局</p> <p>【訓練概要】令和8年2月15日に実施。横手盆地東縁断層帯を震源とするマグニチュード7.2、最大震度6強の地震が発生した想定で、県・地域調整本部をWebで結び図上訓練を行った。</p> <p>【実施内容】災害医療コーディネーターや関係機関の参加のもと、次々に付与されるシミュレーション問題に対応した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 妊婦の搬送調整（広域搬送の検討） ・ 断水による透析施設の機能停止（県透析施設災害ネットワークとの連携） ・ 停電、避難所の暖房故障や極寒環境下での乳幼児の避難対応。 ・ 精神科病院からの患者脱走疑い（DPATや警察との連携） ・ ノロウイルス疑いやエコノミークラス症候群等への対応。 <p>【成果と所感】地域コーディネーターや専門職からの助言により、困難な課題にも対応できた。顔の見える関係構築や、若手職員のクロノロジー（時系列記録）作成スキルの向上にもつながった。</p>

令和7年度秋田県仙北地域保健医療福祉協議会 「救急・災害医療検討部会」

日時：令和8年2月27日(金)

午後2時～午後3時15分

場所：仙北地域振興局福祉環境部

2階会議室

次 第

1 開 会

2 あいさつ 仙北地域振興局福祉環境部次長 石塚 誠

3 役員選出

4 議 事

(1) 豪雨災害における仙北市の取組みについて 資料1

(2) 令和7年度秋田県冬期保健医療福祉調整本部訓練について 資料2

5 そ の 他

6 閉 会

資料 1

令和7年8月仙北市大雨災害における 保健活動報告

令和8年2月27日
仙北市保健課 竹内由美子

内 容

1. 災害に関する保健活動の概要
2. 桧木内地区、上桧木内地区大雨災害の概要
3. 災害発生時の保健活動
 - (1) 当日
 - (2) 翌日以降
4. その他

1. 災害に関する保健活動の概要

(1)市防災計画

令和7年5月 第7次地域防災計画（改定）

市民福祉部保健課(保健班)の業務内容

- ・ 感染症の予防に関すること
- ・ 避難所における被災者の支援に関すること

(2)これまでの災害時における保健活動および支援状況

○平成23年 東日本大災害支援

- ・釜石保健所管内派遣保健師6人
- ・市施設や借家避難者への電話訪問、家庭訪問
- ・女川町民受入 H23年5月～8月 100数名田沢湖高原のホテルに分かれて受入れ
- ・全世帯健康調査(受入時)
- ・駒ヶ岳観光ホテル 週1回健康相談

○平成24年

- ・陸前高田市健康調査 保健師3名参加

3

○平成25年8月 仙北市先達地区豪雨災害

- ・8月9日(金)田沢湖先達地区で土石流発生
住家 全壊5棟 半壊1棟 床上浸水1棟
非住家 半壊3棟
安否不明 2世帯5名 病院搬送者 3名

◎人的被害 死者6名

避難所健康調査 田沢湖総合開発センター 避難者81名

避難所保健活動期間8月9日～8月14日

先達地区全戸健康調査 8月15日～8月21日 以降 不定期に継続訪問

○令和5年7月仙北市大雨災害

- ・7月15日～7月16日 災害救助法適用日 令和5年7月14日

◎人的被害なし

避難所12か所 避難者202名、福祉避難所1か所4名利用

○令和6年 能登半島地震

- ・1.5次避難所 派遣保健師1名

4

2. 桧木内地区、上桧木内地区の大雨災害の概要（地区紹介）

- 仙北市西木町は仙北市の西北部に位置し、南北に29.5Kmと細長く、上桧木内、桧木内、西明寺の3地区が山並に区切られた峠道につながっている。
- 西木町の北部地域の桧木内、上桧木内は急峻で500～1000mの山々が連なる典型的な山村である。気候は奥羽山脈の著しい影響を受ける裏日本気候に属し、冬期間の降雪量は1.2m～2.0mと多く、積雪期間150日以上の特豪雪地帯となっている。
- 西木町は中央部を国道105号線、秋田内陸縦貫鉄道が縦断。
- 秋田県を代表する冬の風物詩の市指定無形民俗文化財上桧木内の紙風船上げが有名である。



5

2. 桧木内地区、上桧木内地区大雨災害の概要

(1)令和7年8月19日～21日 停滞前線や暖かく湿った空気の影響により、東北の日本海側を中心に雷を伴う非常に激しい雨。仙北市では200ミリを超える雨となる。桧木内の観測地点では、3日間の雨量が319.0ミリとなり8月平均降水量310.4ミリを超えている。また、角館地区も雨量が多かった。

降水量

(単位：mm)

観測地点	平均降水量 (8月)	8月19日 (火)		8月20日 (水)		8月21日 (木)	
		24時間雨量	1時間最大	24時間雨量	1時間最大	24時間雨量	1時間最大
桧木内	310.4	86.5	44.5	214.5	38.0	18.0	12.5
角館	254.9	24.5	10.5	113.5	40.0	4.0	2.5
田沢湖	280.8	26.0	20.5	117.0	26.0	19.5	10.5
田沢湖高原	—	90.5	34.0	167.0	38.0	34.0	28.0
鎧畑	306.3	74.0	22.0	156.0	37.0	28.0	20.0

※気象庁 → 過去の気象データ検索 → 日ごとの値、1時間ごとの値より

6

(2)災害救助法適用日
令和7年8月20日

(3)激甚災害指定日
令和7年11月14日

(4)災害対策本部の設置状況

8月20日 5:30 災害警戒部設置

8月20日 7:50 災害対策部設置

8月20日 10:50 災害対策本部
設置

10月17日 16:00災害対策本部
廃止

(5)避難情報等発令状況

8月20日 6:48 土砂災害警戒情報発表

8月20日 8:40 上桧木内地区
緊急安全確保(警戒レベル5)

8月20日 10:50 桧木内地区
避難指示(警戒レベル4)

8月20日 19:40 西長野地区(角館)
避難指示(警戒レベル4)

8月21日 5:00 西長野地区(角館)
避難指示 解除

8月21日 9:15 土砂災害警戒情報解除

8月21日 9:20 上桧木内地区
緊急安全確保 解除

8月26日 16:30 上桧木内・桧木内地区
高齢者避難(警戒レベル3)

8月27日 土砂災害警戒情報発表⇒解除

8月27日 上桧木内・桧木内地区高齢者避難解除

7

(6)人的被害状況 なし

(7)被害状況

住家 中規模半壊、半壊 準半壊等36棟

非住家 // 19棟

(8)避難所設置状況

①福祉避難所 3か所設置

特別養護老人ホーム清流苑 8月20日 1名利用

介護老人保健施設にしき園 利用なし

養護老人ホーム角館寿楽荘 8月24日 2名利用

8

②避難所 6か所設置 (自:自主避難所)

西木地区 多世代交流施設 山鳩館 7月20日~9月10日
 桜木内小学校(自) 7月20日~21日、26日~27日
 西木総合開発センター(自) 7月20日~21日、27日

角館地区 角館交流センター(自) 7月20日~21日、27日
 花葉館(自) 7月20日~21日

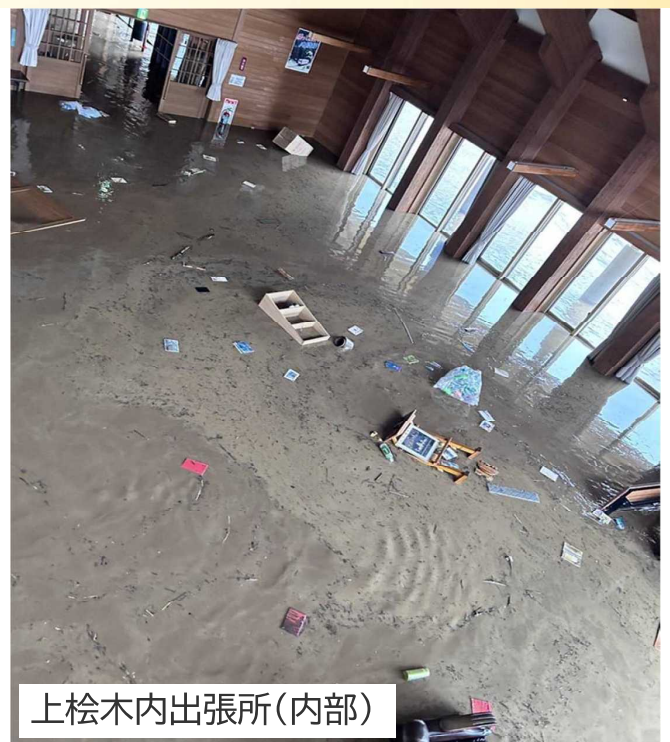
田沢湖地区 田沢湖総合開発センター(自)7月20日~21日、27日

3地区の避難者27名



山鳩館

上桜木内出張所(紙風船館)



上桜木内出張所(内部)

3. 災害発生時の保健活動の状況

(1) 発災当日 8月20日

①保健課の状況

健康サークル支援、大曲仙北保健事業担当者会議

*お盆明けの、通常業務体制であったが複数の事業は組まれておらず
保健師はすぐに対応できた

②指示系統

災害対策本部員の市民福祉部長⇔保健課長⇔統括保健師および課内職員
(保健師、管理栄養士、作業療法士、事務職員)

*避難所運営は西木市民センター

市民福祉部長⇔市民福祉部内の各課長等はLINEで情報共有

③避難所健康観察

上桧木内地区の山鳩館、桧木内地区の桧木内小学校に避難者が発生し、
山鳩館に向かったが班は道路冠水のため中止し、桧木内小学校のみ6名実施

11

桧木内小学校(自主避難所)



山鳩館(避難所)



12

3. 災害発生時の保健活動の状況

(2)翌日以降 8月21日(木)～

①健康観察等（避難所・在宅被災者個別訪問）

8月21日(木) 桧木内地区 訪問3件
8月22日(金) 上桧木内地区 訪問3件
8月23日(土) 山鳩館1名
8月26日(火)～8月29日(金) 在宅被災者訪問29件

8月26日(火)、27日(水)
避難所の炊き出し・食事状況、衛生状況の確認

9月2日(火)～3日(水) 山鳩館19名
9月2日(火) 独居、高齢者世帯安否確認架電
独居29件、高齢者世帯13件 合計42件
9月8日(月)～9月12日(金)安否確認再調査 合計37件
(包括支援センター・社会福祉課・保健課職員で対応)
*ゴミ関係の支援は生活環境課につないだ

13

②健康観察等の従事体制

保健課保健師、管理栄養士、作業療法士、事務職
避難所健康観察 保健師2名1組体制
被災者個別訪問 保健師2名1組または保健師と課内職員の2名で訪問
食事状況・衛生状況確認 管理栄養士
高齢者健康相談 包括支援センター職員
*保健師5課6係に分散配置

③要支援者、要援護者等について

包括支援センター、社会福祉課、国保市民課、こども家庭センター把握している情報を社会福祉課名簿に突き合わせ、主に社会福祉課、包括、保健課で分担して状況把握に努めた。

14

④避難所での保健活動

・健康観察

体調の聞き取り、血圧測定、内服薬の有無、こころの動揺(ストレス状況)、食欲、便秘、家族の状況など

・環境整備

トイレ、手洗い場、浴室、炊き出し状況、消毒液確認とペーパータオルの設置、ハンドソープ等の熱中症予防、食中毒予防、感染症予防の呼びかけと啓発チラシ配布
靴底の泥や土埃の洗浄と除去、手指消毒の呼びかけ

避難者、ボランティア、避難所運営協力の地域住民、職員への呼びかけ

15

⑤報告経路:保健課長、市民福祉部長に報告 部長から対策本部へ情報共有

⑥準備した物品

災害時保健活動マニュアル(全国保健師長会)、仙北市災害初動マニュアル、災害時保健活動ガイドライン、ハザードマップ、住宅地図、健康調査記録用紙、日誌、住民名簿、救急箱、消毒液(アルコール、次亜塩素酸ナトリウムなど)、血圧計、非接触体温計、ゴミ袋、ゴム手袋、ペーパータオル、ティッシュ、各種啓発チラシ・ポスターなど

⑦健康課題

昼間は家の片づけ等避難者は少なくニーズの把握は難しい
雨が降ると怖くて眠れない(睡眠不足・不安)、気持ちが高ぶる、メンタル不調
民間ボランティアによる食事提供状況が十分把握できない

16

4.その他

○周知啓発

- ・ 保健所から家屋消毒等の啓発資材が届く
- ・ 市生活環境課、仙北市社会福祉協議会に熱中症予防、感染症予防等のチラシやデータを情報共有し周知依頼
- ・ 9月1日号の広報にあわせ、「災害後の健康について」のチラシを折り込み上桧木内・桧木内地区全世帯(667部)チラシ作成にあたり保健所から協力を得る

○仙北市社会福祉協議会との連携

- ・ 健康相談窓口の情報提供
- ・ 10月3日(金)～社会福祉協議会はローリング訪問を実施。そこで把握した健康状況と気になる方の情報共有と引継ぎ
- ・ 11月5日(水) 状況確認のための電話訪問2件

17

○通常業務と被災者支援の調整

保健課では9月19日(金)上桧木内地区の住民健診を紙風船館で予定していた。日程変更を余儀なくされ、日時、会場、秋田県総合保健事業団との連絡調整、住民への周知方法等の検討が必要となる。

○災害情報と連絡体制

全職員自席PC回覧メール、避難所防災アプリ、課内職員LINE、仙北市公式LINE

○桧木内・上桧木内地区は、民生委員をはじめ地区住民の状況を知っている方が多い。避難所では協力し合って活動している様子がみられた。

18



大地田農村公園



上桧木内出張所



上桧木内出張所(内部)



上桧木内出張所(内部)

山鳩館 避難所



令和7年度秋田県冬期保健 医療福祉調整本部訓練 について

1

令和7年度 秋田県冬期保健医療福祉調整本部訓練

[次第]

日 時 令和8年2月15日(日)9時00分~12時00分
会 場 秋田県庁第二庁舎4階 災害対策本部室
大仙保健所

参加者 秋田県災害医療コーディネーター
秋田県災害時小児周産期リエゾン
秋田県災害薬事コーディネーター
秋田県災害医療連絡調整員
秋田県地域災害医療コーディネーター
秋田県地域災害医療連絡調整員
大仙市
仙北市
美郷町
秋田県仙北地域振興局福祉環境部
秋田県健康福祉部
※秋田県庁および大仙保健所で参加される方のみ記載

講 師 秋田県災害医療コーディネーター 長谷川 傑
秋田県災害医療コーディネーター 小野崎 圭助

2

災害想定

- 大雪警報の発令に伴い警戒態勢を高めている中、令和8年2月15日午前8時00分、横手盆地東縁断層帯北部を震源域とするマグニチュード7.2の地震が発生し、大仙市、仙北市、美郷町で最大震度6強を観測した。

3

(8) 横手盆地東縁断層帯北部 (M=7.2) 簡易法

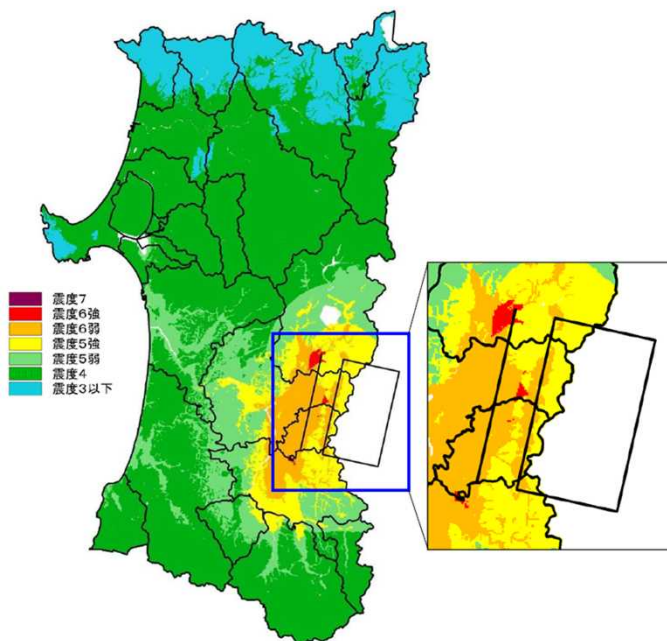


図-4.5.8 震度分布図(簡易法)

人的被害想定(冬2時)

	死者数	負傷者数	うち重症者数
美郷町	34	487	(37)
大仙市	46	754	(48)
仙北市	55	585	(60)

4

4

災害想定

- 秋田県、美郷町、大仙市、仙北市で災害対策本部が設置され、県保健医療福祉調整本部、仙北地域保健医療福祉調整本部が設置された。

5

災害想定

- D M A T 調整本部、D P A T 調整本部も県庁第二庁舎に設置された。D M A T 活動拠点本部が大曲厚生医療センターに設置されることは決まっている。D M A T のリエゾンが仙北地域保健医療福祉調整本部に向かっている。その他の保健医療福祉活動チームも派遣に向けて調整を行っている。

6

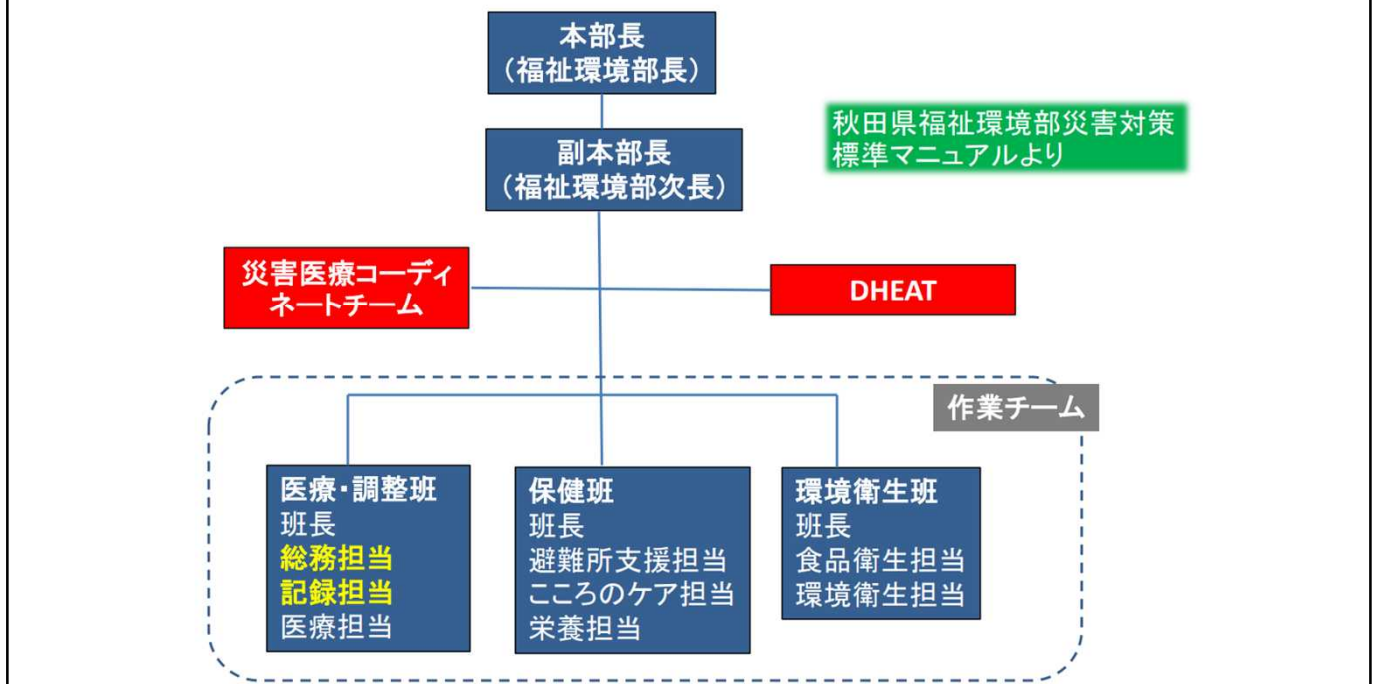


7



8

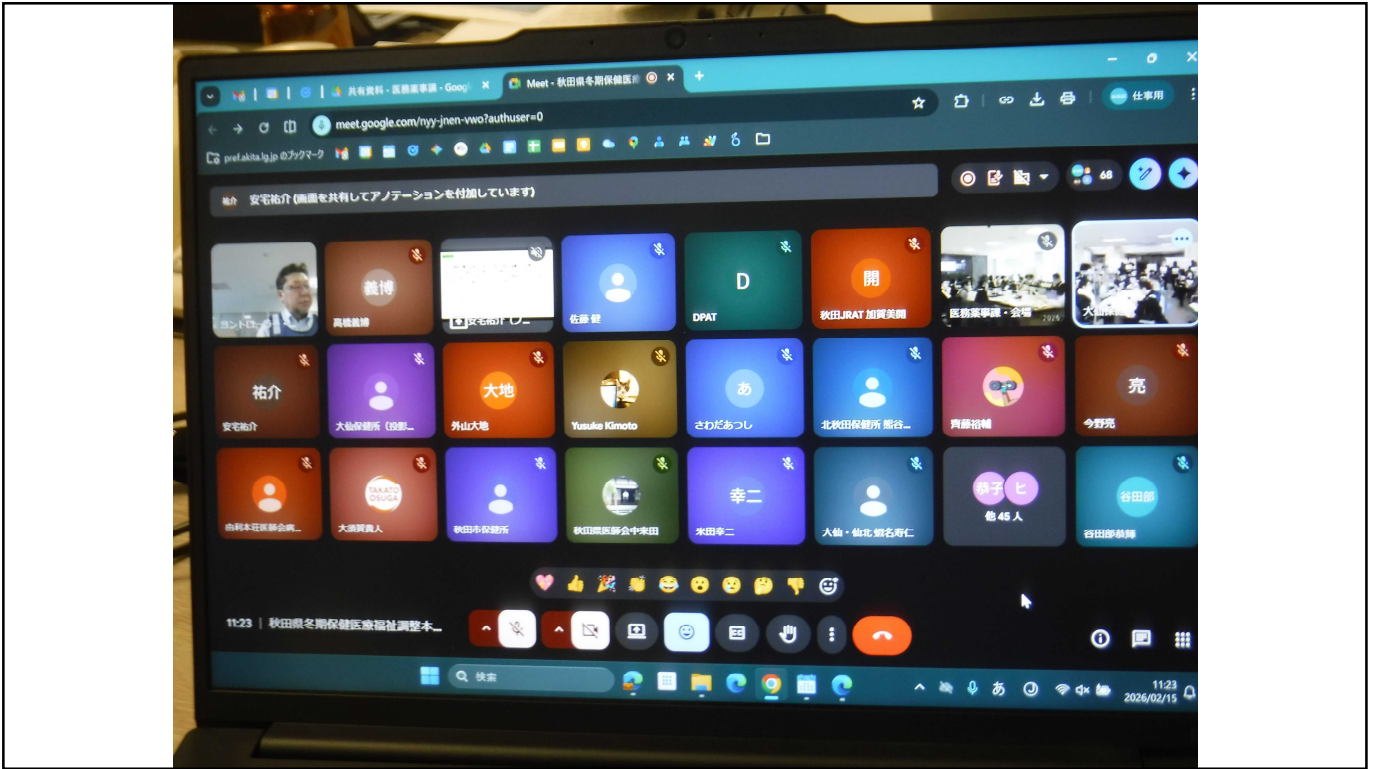
地域保健医療福祉調整本部 組織体制



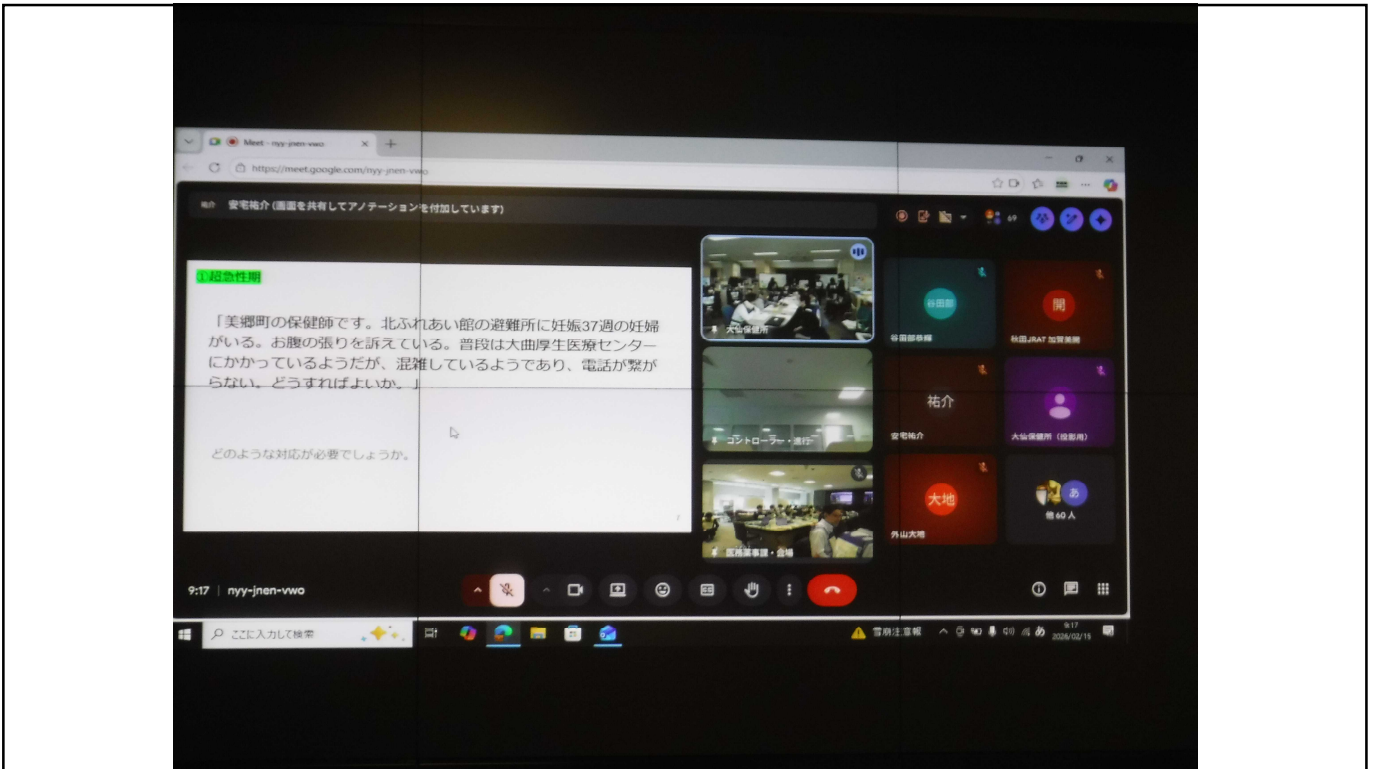
9

所属地域	職名	氏名	所属機関(施設)	所属科(課)	推薦団体
大仙・仙北	地域災害医療コーディネーター	岩指 元	大曲厚生医療センター	外科	一般社団法人秋田県医師会
大仙・仙北	地域災害医療コーディネーター	蝦名 寿仁	市立角館総合病院	整形外科	一般社団法人秋田県医師会
大仙・仙北	地域災害医療コーディネーター	三浦 俊一	三浦クリニック	院長	一般社団法人秋田県医師会
大仙・仙北	地域災害薬事コーディネーター	佐藤 健	佐藤薬局		一般社団法人秋田県薬剤師会
大仙・仙北	地域災害薬事コーディネーター	下山 洋	日の出調剤薬局		一般社団法人秋田県薬剤師会
大仙・仙北	地域災害医療連絡調整員	原 隆志	はら歯科医院		一般社団法人秋田県歯科医師会
大仙・仙北	地域災害医療連絡調整員	煤賀 恵美	大曲中通病院	2病棟	一般社団法人秋田県看護協会

10



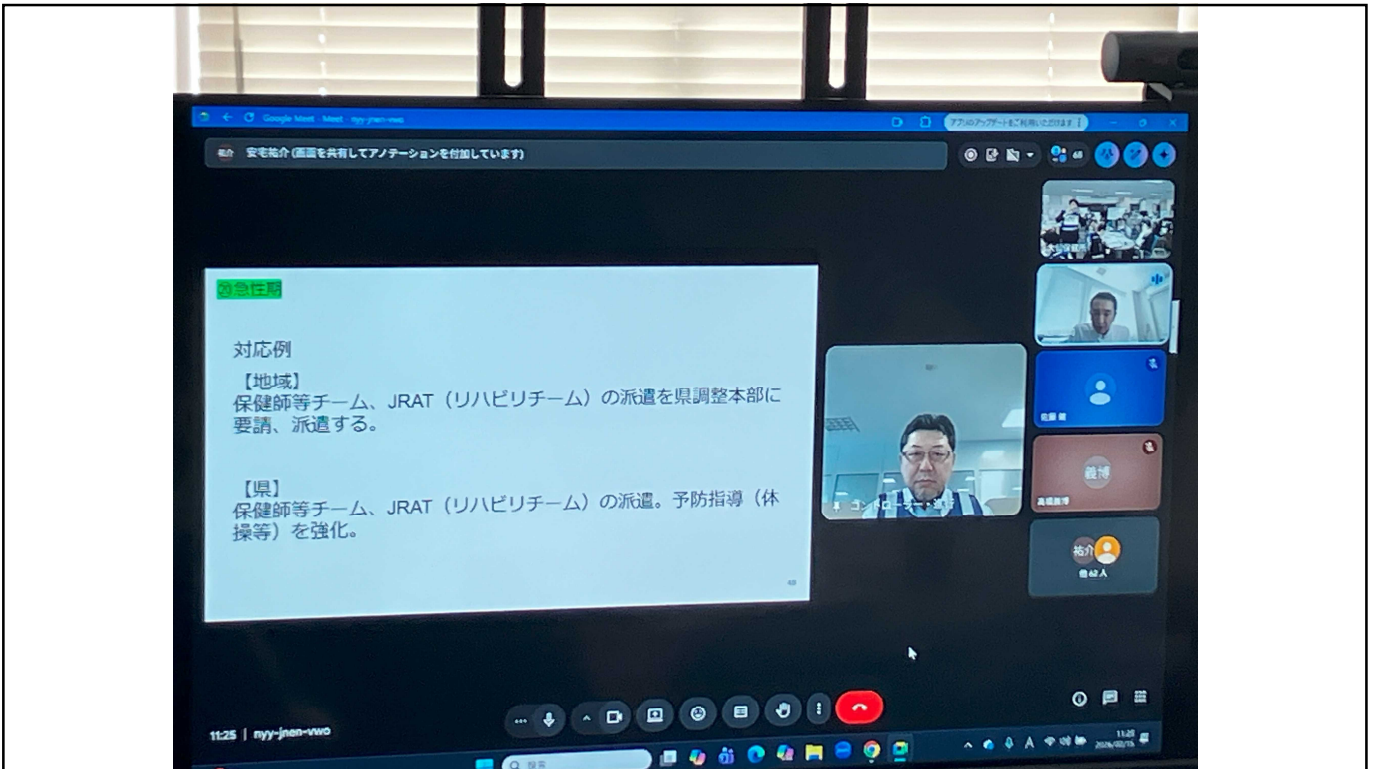
11



12



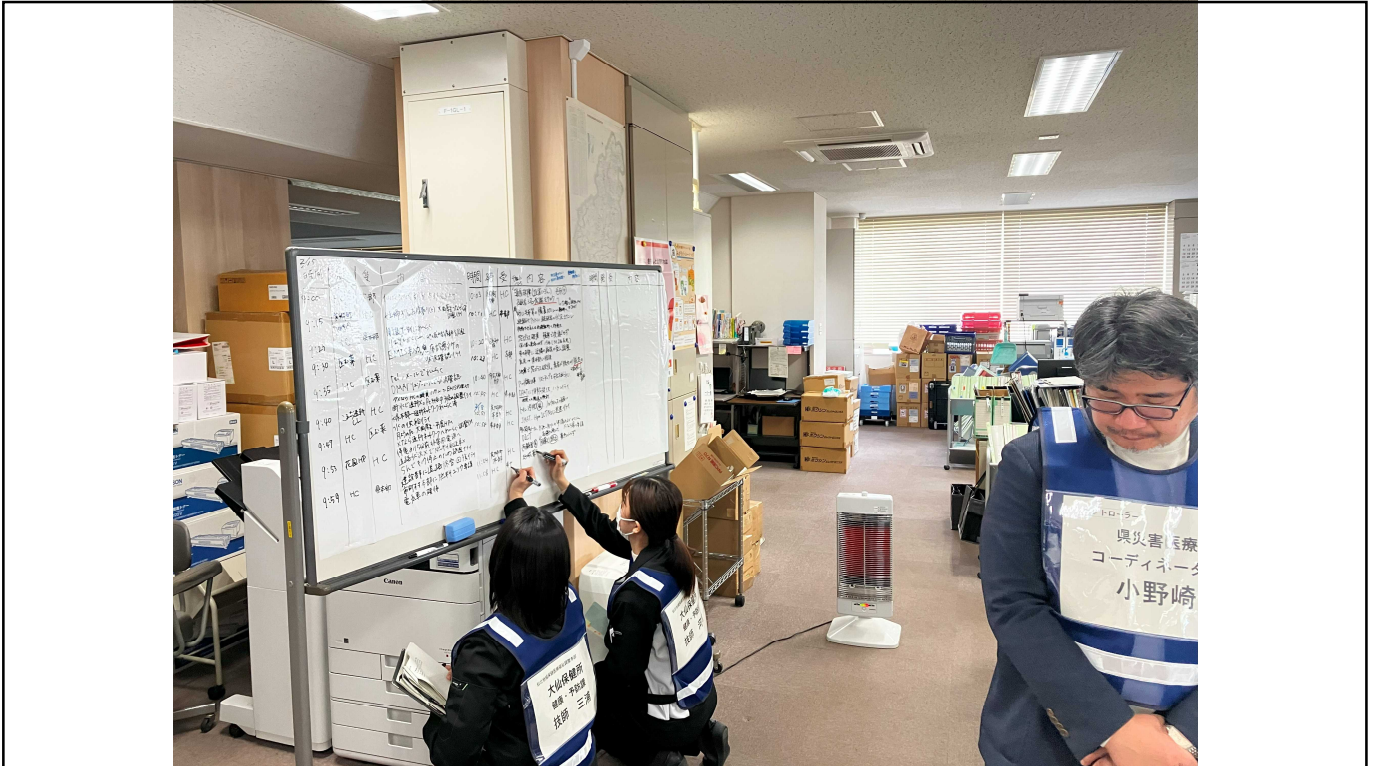
13



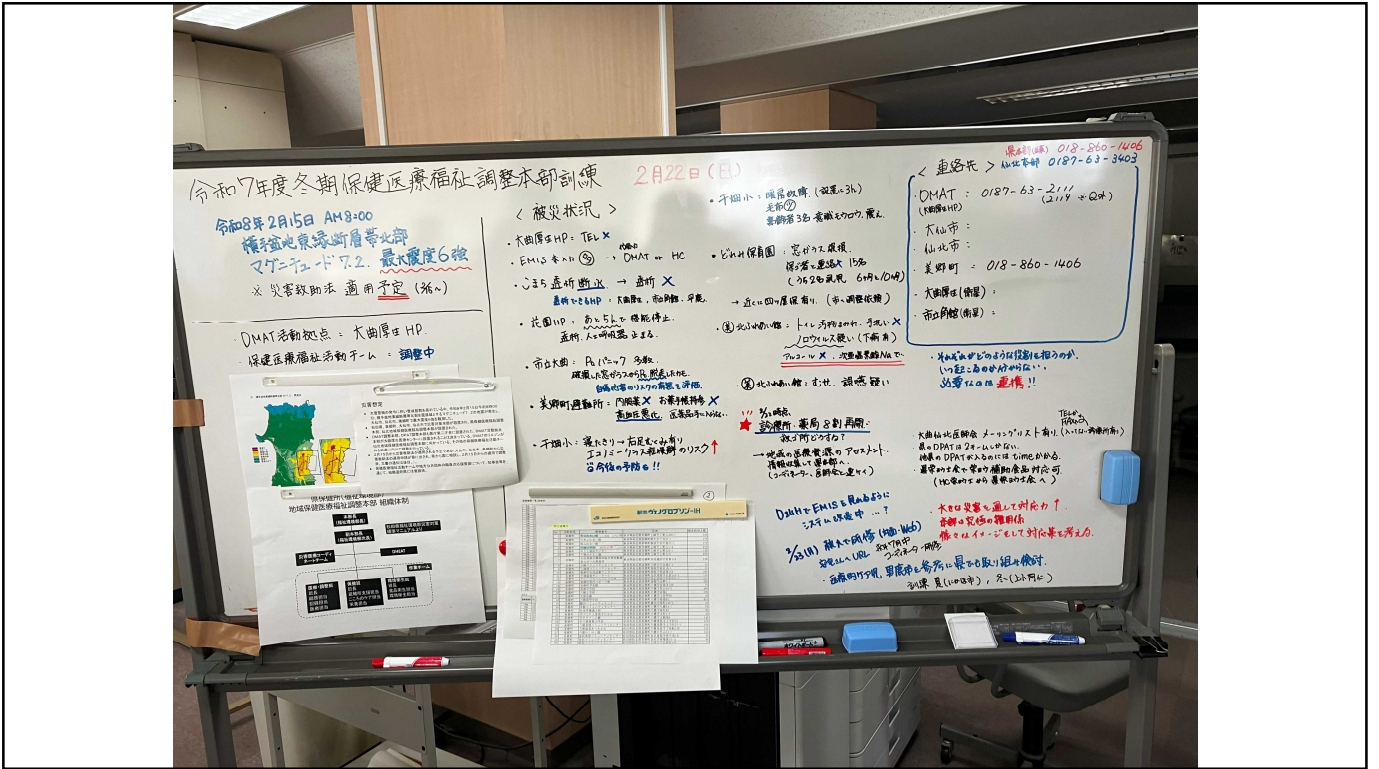
14



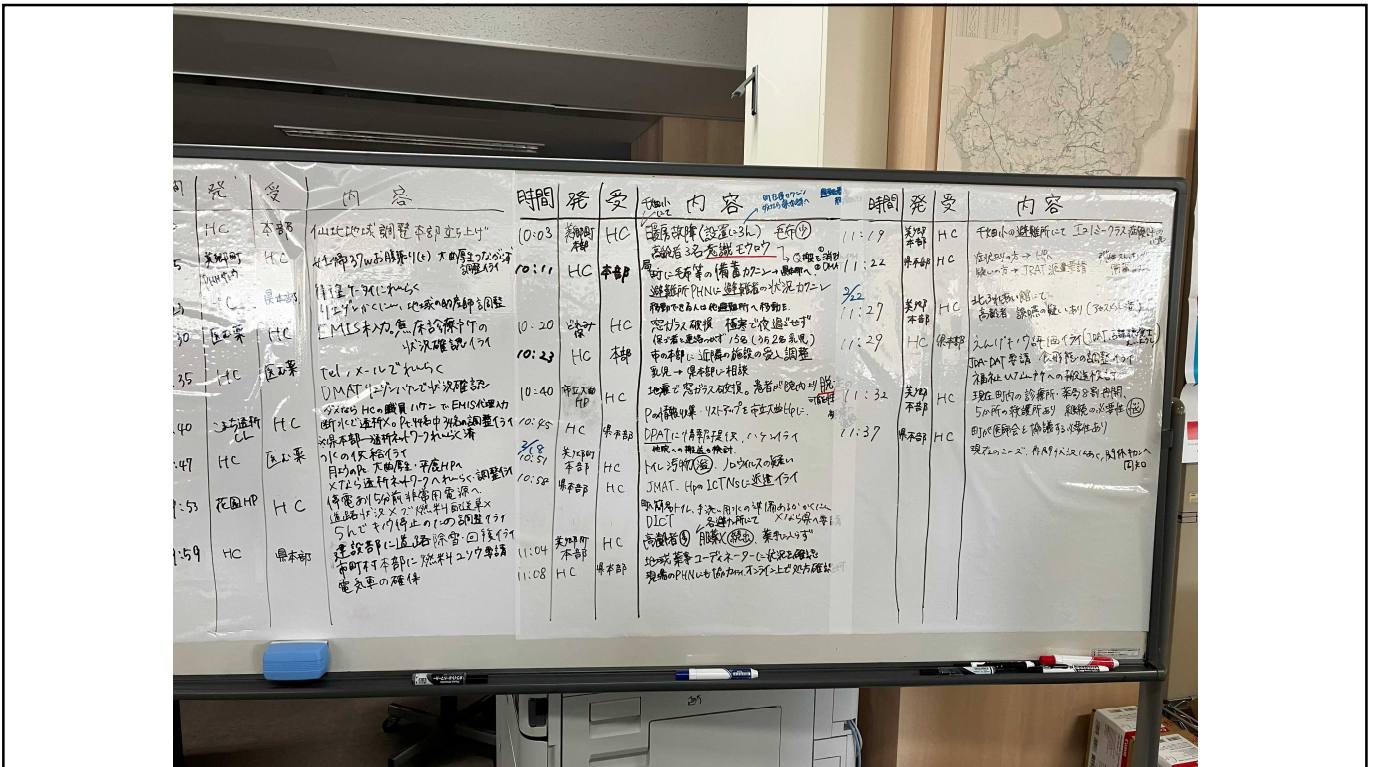
15



16



17



18

①超急性
期

「美郷町の保健師です。北ふれあい館の避難所に妊娠37週の妊婦がいる。お腹の張りを訴えている。普段は大曲厚生医療センターにかかっているようだが、混雑しているようであり、電話が繋がらない。どうすればよいか。」

どのような対応が必要でしょうか。

19

19

②超急性期

「医務薬事課です。EMIS（広域災害救急医療情報システム）への入力が、大仙・仙北管内の病院、有床診療所で全く進んでいない。また、無床診療所の被害実態も把握できていないため、大仙保健所で調べて欲しい。」

どのような対応が必要でしょうか。

20

20

③超急性
期

「こまち透析クリニックです。断水で透析ができなくなっている。当院の透析患者は44名おり、うち10名は系列の花園病院で受け入れられそうだが、34名が透析できない状態。調整をお願いできないか。秋田県透析施設災害ネットワークにも連絡はしている。」

どのような対応が必要でしょうか。

21

21

④超急性期

「花園病院です。5分前に停電で非常用電源に切り替わったが、地割れや建物倒壊、積雪により、道路状況が悪く、いつも使用している燃料配送車がすぐに来られないようである。あと5時間で透析機器や人工呼吸器が止まるので助けてほしい。」

どのような対応が必要でしょうか。

22

22

⑤ 超急性期

「美郷町災害対策本部です。千畑小学校の避難所で、暖房が故障し、体育館の温度が5度以下となった。暖房については、一定程度確保できる目処がたったが、設置にはあと3時間ほどかかりそう。また、暖房が入ったとしても、台数が不十分の可能性があり、十分に暖まるかは不明であり、毛布等も不足している。高齢者が3名、震えていて意識が朦朧としており、支援をいただきたい。」

どのような対応が必要でしょうか。

23

23

⑦ 超急性期

「大仙市のどれみ保育園です。保護者と連絡がつかない児童が15名残っている。うち2名は乳児で生後6ヶ月と生後10ヶ月。施設は窓ガラスが割れ、極寒で夜を越せない。どこへ移動すればよいか。」

どのような対応が必要でしょうか。

24

24

⑨超急性
期

「市立大曲病院です。パニックを起こしている患者が多数。窓ガラスが破損し、一部の患者が脱走した可能性がある。」

どのような対応が必要でしょうか。

25

25

⑪急性期

「美郷町災害対策本部です。美郷町北ふれあい館のトイレが汚物で溢れ、手が洗えない。下痢を訴える人が数名出てきた。ノロウイルスかもしれない。」

どのような対応が必要でしょうか。

26

26

⑬急性期

「美郷町災害対策本部です。各避難所において、高齢者が多く、倒壊した自宅に薬を置いてきてしまったなど、薬を飲めずに血圧が上がっている人が続出している。お薬手帳も持っていないようである。かかりつけの診療所や薬局も被災しており医薬品が手に入らないようである。対応方法を助言いただきたい。」

どのような対応が必要でしょうか。

27

27

⑳急性期

「美郷町災害対策本部です。千畑小学校の避難所で、寒いこともあり、ずっと寝たきりで動かない住民が多く、中には右足のむくみが出てきた人もいます。エコノミークラス症候群になってしまうのではないかと心配しているが、どうすればよいか。」

どのような対応が必要でしょうか。

28

28

②⑦ 亜急性期

「美郷町災害対策本部です。北ふれあい館の避難所から、避難している高齢の方の家族から『父親のむせ込みが目立つ。』と訴えがあり、アセスメントしたところ誤嚥が疑われる。どうしたらよいか。」

どのような対応が必要でしょうか。

29

29

②④ 亜急性期

「美郷町災害対策本部です。美郷町内の診療所や薬局の8割が再開したが、5か所の避難所に救護所を設置している。いつまで必要か判断に迷っている。」

どのような対応が必要でしょうか。

30

30